

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	公衆衛生学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第1校舎901 902教室
担 当 教 員	山本勇藏、齋藤寛	実務経験と その関連資格	山本: (保健科学西日本(旧 いかぐ)に35年間勤務し、微生物検査、品質管理責任者、ISO14001の環境管理責任者などを経験。 臨床検査技師、臨床病理二級検査士(微生物)、ISO 15189認定審査員			
《授業科目における学習内容》						
<p>疾病の予防および健康増進が注目され、近年ますます予防医学の重要性が増している。公衆衛生学のテキストをもとに、人々の健康に影響を与える要因が多くあることを理解し、各種の要因についての知識を深め、公衆衛生学の役割を認識する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>中間試験および期末試験、課題等を総合して評価する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>1.テキスト:最新 臨床検査学講座 2024年版 2.参考資料:講師作成の資料</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>健康に関係する自然、社会、環境など公衆衛生学に関係する情報を、TV、新聞、ネットニュースなどを通して知り、公衆衛生が身近なものであることを知る。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>学習のポイントを配布するので、自分なりに重要なことをメモする。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の定義、健康の要因、国際保健協力について理解できるようにする。	テキスト ・P1~4 ・P6~9 ・P109 ・P189~194 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義、健康の要因、健康増進法、国際保健協力			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	衛生統計(1/2) ・人口静態統計と人口動態統計について理解できるようにする。	テキスト ・P11~P23 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	①保健統計の種類について概要説明 ②人口静態統計と人口動態統計 ③人口静態統計における公衆衛生の意義付け			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	衛生統計(2/2) ・人口動態統計の各種指標と疾病・障害統計について理解できるようにする。	テキスト ・P23~P33 ・P35,36 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	①人口動態統計に用いられる指標 ②国民生活調査の概要と最新データからの意義 ③患者調査の概要と最新データからの意義			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学(1/2) ・疫学の基本的概念について理解できるようにする。	テキスト ・P37~P41 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	①疫学の歴史解説による公衆衛生における疫学の重要性 ②疫学と予防医学との関係 ③疫学的因果関係			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学(2/2) ・疫学研究に必要な知識と疫学研究方法について理解できるようにする。	テキスト ・P41~P49 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	①疫学研究に伴う誤差と各種指標 ②各種疫学研究方法(コホート研究を中心に) ③スクリーニング検査の意味と感度・特異度などの指標			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症(1/2) ・感染症の成立要因と種類について理解できるようになる。	テキスト ・P135～P146 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①感染症の成立要因(感染源と感染経路など) ②新興感染症、再興感染症、検疫感染症 ③医療関連感染		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症(2/2) ・感染症の予防対策について理解できるようになる。	テキスト ・P146～P153 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①感染予防対策と感染症の成立要因の関係 ②感染症法と予防接種法 ③感染症のサーベイランスによる予防対策		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	食中毒 ・栄養と食品衛生の内、食中毒について理解できるようになる。	テキスト ・P156～P167 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①食中毒の発生状況と病因物資などの概要 ②各種食中毒の内容と予防策		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境と健康(1/2) ・生活環境や人々の健康との関わりについて理解できるようになる。	テキスト ・P97～P109 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①生活環境(屋内環境、上水・下水、廃棄物)の解説 ②健康増進法における生活環境との関わり方の理解		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境と健康(2/2) ・環境や生活環境と人々の健康との関係性について理解できるようになる。	テキスト ・P109～P123 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①物理環境、化学環境などの健康に影響する要因の解説 ②環境リスクの評価としての環境基準、生物学的モニタリングなどの解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境問題と環境汚染 公害などの歴史を通して環境の問題点と対策について理解できるようになる。	テキスト ・P125～P134 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	①環境問題の種類と影響についてポイントの解説 ②環境汚染の歴史と環境汚染の指標についての解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	予防医学の考え方について理解し、分類できるようになる。	テキスト ・P4～6 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	1～3次予防		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子保健に関する制度と統計指標について理解できるようになる。	テキスト ・P51～55 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	母子保健法、母体保護法、死産などの母子保健に関する統計		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校保健に関する制度と安全管理について理解できるようになる。	テキスト ・P57～61 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	学校保健安全法、学童期における疾病と安全管理		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病の現状と予防対策について理解できるようになる。	テキスト ・P63～76 ・P78,79 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活習慣と疾病との関連性、特定健康診査		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健に関する制度と高齢者福祉対策について理解できるようになる。	テキスト ・P81～89 ・P185～187 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	高齢者医療確保法、介護保険法、高齢者福祉対策		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患と精神保健に関する制度について理解できるようになる。	テキスト ・P91～96 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	精神疾患、精神保健福祉法		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と健康の関わりについて理解できるようになる。	テキスト ・P77～79 ・P155,156 ・P167,168 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	日本人の食事摂取基準、国民健康・栄養調査、食品衛生法		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	産業保健に関する制度、労働者の健康管理について理解できるようになる。	テキスト ・P169～178 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	労働基準法、労働安全衛生法		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域保健活動、医療制度、国民医療費、社会保障、社会福祉について理解できるようになる。	テキスト ・P33～35 ・P179～188 配布資料	左記のテキスト内容を読んでおく
		各コマにおける授業予定	地域保健法、医療法、国民医療費、社会保険、社会福祉		
第21回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第22回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第23回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			